

## 編集後記

本誌は、情報系センターに関わる内容を扱うオリジナル論文誌で、今回で第 12 号を刊行するに至りました。現行を寄稿された著者の皆様方、ならびに関係各位には改めて感謝いたしたいと存じます。

原著論文審査にあたっては、編集委員の皆様をはじめ、多くの方々のご協力により実施することができました。ご多忙の中、貴重な時間を割いて、迅速に査読を行っていただいた編集委員の方々に、心からの敬意と感謝の念を表したいと存じます。

また、第 3 回情報系センター研究交流・連絡会議および第 12 回学術情報処理研究集会の運営委員・実行委員の皆様には、会議・集会の計画策定にあたり大変お世話になりました。深く感謝いたします。

今回掲載された論文は、情報基盤の構築から情報処理教育、さらに学術情報データベースの整備からセキュリティ管理まで、大学における情報系センターの役割が高度化・多様化しているのに伴い、業績も多様でレベルも非常に高いものでした。また、情報基盤、教育、データベース、セキュリティ、それぞれの分野の研究課題が相互に関連しており、今後の総合的な研究への発展も展望されるものでした。このような点でも、情報系センターの研究者、管理者が一同に会して研究交流を行うことは、非常に意義のあるものであります。

これらの研究成果は、一般の学術論文誌の論文と同様に貴重なものであり、全国の情報系センターにおける諸問題の解決に役立つ貴重なノウハウを提供するものです。また、大学運営や地域貢献における情報系センターの今後の活動に大いに資するものであります。今号（第 12 号）を含めて、論文誌「学術情報処理研究」における研究成果の蓄積は大変貴重なものであり、今後とも全国の情報系センターが、高度化・多様化する課題に答えていけるように交流・協力を進めることを願ってやみません。

本誌の構成は、原著論文 8 編（うち学術情報処理研究集会での口頭発表 8 編）、学術情報処理研究集会予稿編および学術情報処理研究集会報告 13 編、巻頭言、センター紹介、議事要旨や会議の報告等を含む大変充実した内容になっております。最後にこのような素晴らしい学術情報処理研究誌の刊行にあたり、印刷・出版、広報など多くの業務を担当していただいた、豊永先生、佐々木先生をはじめとする高知大学の皆様へ、心から感謝の意を表して結びといたします。

「学術情報処理研究」

編集委員会主査 野田 哲夫†

---

### 「学術情報処理研究」編集委員会

主査	野田 哲夫（島根大学）	片桐 雅義（宇都宮大学）
	大嶋 誠（大分大学）	豊永 昌彦（高知大学）
	小林 聡（島根大学）	永井 明（宇都宮大学）
	吉田 和幸（大分大学）	佐々木正人（高知大学）

---

† 島根大学 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 nodat@soc.shimane-u.ac.jp